



民生委員・児童委員

第22号



たが民児協だより



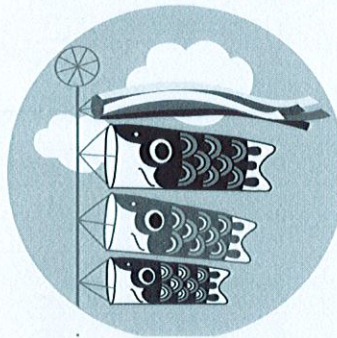
発行者 多賀町民生委員児童委員協議会
事務局 「ふれあいの郷」内 福祉保健課
TEL0749-48-8115 有線2-2021
E-mail fukushi@town.taga.lg.jp

—いつもあなたのそばに・これからも地域のために—

平素より民生委員・児童委員の皆さまには、高齢者等の見守り活動や、さまざまな相談・支援など献身的にご尽力ご活動いただいております。ことに深く感謝を申し上げます。

近年、福祉に関わる課題も多様化・深刻化し、また各地で自然災害が相次いでおり、災害に備えた体制づくりや要援護者への支援も課題となっております。このような課題も含め、本町では平成三〇年度に策定しました「第2期多賀町地域福祉計画」の基本理念である「みんなの絆で支えあう安心と温もりのある福祉のまち」をめざし、地域共生社会のまちづくりに取り組んでおります。

地域住民が支えあい、助け合う地域共生社会づくりを進めていくために、日頃から地域のパイプ役として地域福祉の中心的な役割を担っていただいております。民生委員・児童委員の皆さまには、なお一層のお力添えをお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



ふれあいさつ

多賀町長 久保 久良

支えあう住みよい社会

地域から

会長 小財 惣九郎

多賀町の皆さま、平素は多賀町民生委員児童委員協議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地で台風や豪雨等の災害が相次いで発生し、町内におきましても台風の暴風雨により、大きな被害が発生しました。被害に遭われた多くの方々に、お見舞いを申し上げます。

近年の異常気象により、災害が発生する頻度も増加している中、安全で安心して暮らせる「地域づくり」が必要です。

多賀町では、三十四名の民生委員・児童委員が町内各担当地域の住民の皆さまの身近な相談相手として、また、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して活動を行っています。加えて、当協議会では、地域の実態や課題に応じた取り組みができるように、各種事業や研修の実施、情報の収集、広報の充実、委員の資質向上や民児協組織の機能強化に取り組んでいます。

今後とも町民の皆さまのご理解・ご協力なご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

多賀町民生委員児童委員協議会には、児童青少年部会・障がい者福祉部会・高齢者福祉部会の3つの部会があり、令和元年は次の活動の計画を予定しています。

児童青少年部会

- ①学校、保育園、幼稚園、放課後児童クラブ等の訪問
 - ・町内全部の学校・園・学童等を訪問し、学校等での様子について、校長・園長・所長の話ならびに参観により、児童の現状を把握する。
- ②児童青少年問題についての研修会
 - ・7月11日(木) / (仮)「児童虐待について」
- ③子育て支援事業の実施
 - ・10月24日(木) / 子育てサロンの実施(就園前の子どもを対象、親子のつどいを実施する。)
- ④子どもの誕生家庭訪問活動
 - ・赤ちゃんが生まれた家庭を訪問し、絵本とお祝いカードを贈り、子育て家庭との関わりを深め、相談支援活動の推進を図る。
- ⑤小中学校児童・生徒の登下校時の声掛け・見守り事業
 - ・各委員の出来る範囲で見守る。

障がい者福祉部会

- ①アルミ缶、ベルマーク収集の協力
 - ・アルミ缶 …………… 杉の子作業所の指定場所へ各自で持ち込み。
 - ・ベルマーク …………… 毎月定例会で収集。彦根学園へ部会で届ける。
- ②福祉施設の見学
 - ・(社福) 青い鳥会彦根学園祭、甲良養護学校生活発表会
- ③杉の子作業所行事への協力
 - ・杉の子まつりに参加、クリスマス会開催協力
- ④部会自主研修
 - ・障害者支援等の理解を深めるために、彦愛犬地域障害者生活支援センター「ステップアップ21」で開催される研修会に参加する
- ⑤障がいの理解を深めるための研修会
 - ・5月9日(木) / (仮)「聴覚障害について」

高齢者福祉部会

- ①町内福祉会・サロンの見学、交流
 - ・各字で開催のサロンの見学および交流
- ②報告・研修会
 - ・10月10日(木) / (仮)「介護保険と制度について」
- ③災害時安否確認台帳の点検
 - ・災害時における避難マニュアルの確認
 - ・各字の避難場所への誘導・案内看板の設置への働きかけ(区ごとに誘導路の確保に努める)
 - ・緊急通報システムによる通報時の対応確認
 - ・災害時等安否確認台帳に基づくマップ確認
 - ・緊急連絡カードの検討
- ④救急医療情報キット「命のボタン」の配布
 - ・ひとり暮らし高齢者や昼間1人になる高齢者等、緊急で救急搬送が必要になった場合等、いざというときに役立てられるよう、必要と思われる住民に「命のボタン」を配布し、冷蔵庫に設置してもらう。今後も事業を継続し、広げていく。
- ⑤振り込め詐欺、悪質訪問販売等のチラシ配布
 - ・集会時に、話題として取り上げ高齢者に呼びかける。
 - ・資料、あるいはチラシの有るときは配布し説明する。
 - ・振り込め詐欺被害防止啓発用のトイレットペーパーを配布し、被害防止に努める。



ラジオ深夜便』と冊子は『プラス思考の生き方』と『明日への希望』を提言してくれているようである。

すでにご存じの方も多いと思うが、私にとっては、人生を楽しむくさせてくれる友達となりそうだ。興味のある方はぜひ、拝読拝聴してほしい。

「思いやりのある街に」

副会長 野村 惣藏

教育学者、倉橋 惣三さんの「育ての心」の中の「とげ」というメッセージにこんな言葉があります。

- 私たちの目にとげはないか
- 私たちの言葉にとげはないか
- 私たちの気分にとげはないか

何気ない一言が、人の心を傷つけることは、自分自身が受けた体験からもわかっていました。他人に対する言葉はそれなりに気をつけてきたつもりです。

しかし、正直なところ、「目にとげはないか」とまで心配りをするとはできませんでした。もちろん、言葉でわかっている、いざ実践となると難しいものです。

常にこうした態度で人に接することが出来るのは、よほどの人格者というべきでしょう。たとえ人格は未熟であっても、自分の言葉、自分の目、自分の気分から、できる限り「とげ」を抜くような努力だけしたい。それが、だれもが笑顔で、安全に、安心して生活できる地域づくりにつながると確信しております。

よき隣人として多賀町民の皆さまのご支援ご協力をお願いします。



「震災を忘れない」

副会長 東岸 良子

平成三十年度は、地震、台風、水害等自然災害の多い年となりました。また、三月十一日の東日本大震災から八年目を迎えました。被災地への支援等を通じ、福祉活動に対する機運が高まりました。この思いは今後も風化させることなく、もちろん続けたいものです。

私たち民生委員・児童委員は、児童青少年部会、高齢者福祉部会、障がい者福祉部会の三部会で活動しています。その一部ですが、杉の子祭り、彦根学園祭り、各字の福祉サロンへの参加、ふれあいの郷での子育てサロン、杉の子のクリスマス会等、民生委員・児童委員がお互いに協力して行っています。みなさんとふれあうことができ、逆にパワーをもらっています。ありがとうございます。



「子ども達の笑顔を」

主任児童委員 富田 愛子

四月の入学式、入園式の緊張もほぐれ、子ども達は毎日楽しく過ごしていると思います。

私達は、学校・園を訪問させていただいて、子ども達の元気な様子や落ち着いた様子を見せていただいて、安心してるところです。

一方、虐待やいじめで命を落とす子ども達の報道が途切れなく続き、胸のふさがる思いです。多賀町でも、虐待に関する報告はありますが、関係機関が連携して支援にあたっておられます。

しかし、私達が虐待の事実にはまだ気づけていない場合もあるのではないかと危惧しています。

もし、虐待かなと思われたら「一八九」へ電話をして下さい。通報者は明らかにされません。普段とは違う子ども達の様子に気づかれたら、どうぞ声をかけてください。

私達はみなさんと一緒に、子ども達の笑顔を守っていききたいと思っています。

「地域とのつながり」

菅原地区担当 久保田 里美

民生委員・児童委員をお受けして三期目となり、お受けしてから色々なことがありました。お亡くなりになられた方、ひとり暮らしになられた方、夫婦のどちらかがお世話を必要とされる方などさまざまです。

なかでも、子どもに迷惑をかけるように、一日でも健康寿命を延ばせるよう、毎日散歩をしておられる方、自分で行ける病院はバスを利用しておられる方、自分なりに自分のできることは、自分でモットーに頑張っておられる方もいます。

しかし、今年の四月からバスの運行がなくなり、少し不安を抱えておられる方もいて、過疎化にさらには拍車がかかっているように感じます。

これから地域が一丸となって一人ひとりが地域の担い手として、見守り見守られ支え合える地域づくりが必要になると思います。私も微力ながら、地域に貢献ができるよう頑張ります。これからもお気軽にお声かけください。



「ラジオ深夜便」

一ノ瀬・佛ヶ後地区担当 小山 茂次

最近、『NHKラジオ深夜便』の冊子を購入し、昔使っていたラジオで夜中に気に入った番組を聴くようになった。若い頃に流行ったスクリーンミュージックやポップス、歌謡曲を聴きながらコーヒを飲み、冊子の連載記事や特集、読者の広場などを楽しんでいる。

「実はボク、認知症になったんです。」という認知症医師のインタビューが『明日のことば』として掲載されていた。とても興味深い内容で『だいじょうぶだよーぼくのおばあちゃん』という絵本も紹介されていた。

冊子には他にも災害復旧のこと、ヒキコモリからの脱出記事、健康問題のエッセイ、老いの楽しみ方、寄席や料理といった趣味の記事…どれも読み入ってしまう内容が多い。

さらに驚くことにリスナーや冊子への投稿者は80歳、90歳といった高齢の方が常連で65歳の私など、まだまだ若輩者である。この深夜のラジオ番組『NHK

【各地域の民生委員・児童委員】

(任期 平成28年12月1日～令和元年11月30日)

担当区	氏名	担当区	氏名	担当区	氏名
多賀	園田 宗良	久徳	小財 良一	藤 瀬	西澤 知子
	阪東 克美		夏原 和子	富之尾・梨ノ木・楷崎	古川 幸子
	大辻 美代子	月之木	小財 惣九郎	萱 原	久保田 里美
	藤井 金一郎	栗 栖	山中 元子	大 杉・樋田	田中 滝彦
	宮下 進	一 円	赤田 聡	小原・霜ヶ原	大矢 勝
尼子	高木 秀子	中川原	野村 惣藏	佐 目	東岸 良子
猿木	古川 良治	木曾・脇ヶ畑	多賀 節子	南 後 谷	前川 正美
敏満寺	小菅 綾子	河内・霊仙	菅森 時子	大 君 ヶ 畑	上田 せつ子
	山口 勲	屏風・後谷・向之倉 甲頭倉・水谷・桃原	宮下 勇	グリーンヒル多賀	大矢 顕治
土田	曾我 勝博			主任児童委員	小財 みつ子
四手	植野 比登美	川 相	森 清美		富田 愛子
八重練・大岡	馬場 勝子	一ノ瀬・佛ヶ後	小山 茂次		

組織(役員)	会 長	小 財 惣九郎	監 事	山 口 勲
	副 会 長	野 村 惣 藏	監 事	森 清 美
	副 会 長	東 岸 良 子	児童青少年部会長	植 野 比登美
	会 計	藤 井 金一郎	高齢者福祉部会長	宮 下 勇
			障がい者福祉部会長	大 辻 美代子

地域社会から児童虐待をなくしましょう！

広げよう 地域に根ざした 思いやり